

平成30年度1月教育委員会 会議録

開催日時	平成31年1月25日（金） 14:00～16:00	
開催場所	早島小学校（応接室）	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、綾野克紀委員、竹井成範委員、栗坂祐子委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、貝畑和明学校教育課長、猪木浩二課長補佐、石原知子係長
会議次第	1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 (1) 授業等について意見交換 (2) 平成31年度予算要求と施策について (3) 第2回学校自己評価について (4) その他 ・深砂公園テニスコート使用料の見直しについて 3 連絡	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	大部 桂嗣	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 授業等について意見交換</p> <p>教育長：授業に参加して気づいたことがあれば忌憚のないご意見をいただきたい。学校に返させていただく。</p> <p>栗坂委員：先生の表情がよくて、教室に入った途端にいい雰囲気授業に参加させてもらった。掲示物を教室の前ではなく、横や後ろに貼ることで子どもたちの気が散らないように配慮されていた。道徳の授業で席を離れてグループでディスカッションしたあとに、また元の席に戻る流れがスムーズだった。</p> <p>綾野委員：前回、参観したときよりよく感じた。それぞれの授業にも先生の個性が出て面白いと感心した。裏山のところは、思ったより直角だった。自分は土の専門家ではないが、危なそうに思えた。町の土木担当に見てもらった方がよいのではないか。それとガスト</p>

ーブはいつから使い始めたのか。

教育長：ずっと以前からである。

綾野委員：老朽化した校舎で使うのは危なくないか。事故がないなら良いが。

教育長：エアコンもついているが、電気代がかなりかかるので、冬はストーブを使っている。

栗坂委員：経験の差はあるが、若い先生も一生懸命していてよい。インフルエンザ予防も兼ねて、授業中も教室の窓を少し開けたり、加湿器を置いたりするなど工夫している。あれはどこの教室もしているのか。

教育長：空気の入替えはするようになっているが、加湿器はその教室の先生個人のものかもしれない。授業づくり研修会等が実を結んできている。E S D等の探究活動が学力向上につながると考える。

竹井委員：5年生の英語の授業を参観していて、児童が答えた後に先生が正解を繰り返してあげると耳に残るのではないかと思った。

教育長：その通りだ。英語の授業は原則英語で進めた方が頭にすっと入ってくる。A L Tをもっと有効活用して45分の授業を有意義に使うべきだと今日の授業を参観して強く思った。

大森委員：実社会でも日本語英語のところが多いのが残念だ。

(2) 平成31年度予算要求と施策について

教育長：県の来年度の事業方針が出たので、その説明をする。

石原係長：平成31年度の義務教育課の予算である。岡山県全国学力・学習状況調査の方は、全国学力・学習状況調査と同一日にしているが、来年度は英語調査も全国調査で中学3年生を、岡山県調査で中学2年生を対象にする。また、春の学力・学習状況調査だけでなく、秋にも学力定着状況調査として、全国調査のB問題を再編集したもので、小学4年生から中学3年生の国語と算数・数学を再度調査し、授業改善に活かしていく。

提案事業は様々あるが、早島町としては、放課後学習サポート事業、英語力向上ICT教材活用事業に取り組みたいと考えている。放課後学習サポート事業は今年度も行っているが、来年度は特に中学校に力を入れ、学力向上を目指すことになっている。県調査、全国調査ともに中学校の成績がよくないこともあり、県としても補充学習に力を入れるとのことである。中学校では部活動の休養日を使って、週3日以上の実施となっているので、早島町でも力を入れる。語力向上ICT教材活用事業だが、今、早島町で行っているネイティブスピーカーとのオンライン英会話も充実させながら取り組んでいきたい。

教育長：放課後学習サポート事業は、今年は支援員だけでよかったが、来年、中学校は免許のある教員がついて教えなければならないので、非常勤講師等を活用したい。また、国の研究指定は今、小学校をメインにして行っているが、来年は中学校で国の研究指定を受け、保幼小中で連携して更に深めていきたい。今は中学校・小学校ともN I Eに取り組ん

でいるが、来年も小・中でN I Eを受けており、読解力の向上につなげたい。

貝畑課長：町の事業としては、英語検定応援事業、新たに演劇を用いるアクティブラーニング研修事業を行う。また、課題となっている算数・数学の授業づくりに力を入れたいと考えている。小学校のメディアルーム、図工室、家庭室、中学校にもエアコンのリース事業を始める。学校園の残っているトイレの洋式化を行う。修繕としては、小学校5つ、中学校3つである。

教育長：幼稚園に給食を開始する予定であり、今のところ保護者負担は月2,000円と考えている。保護者アンケートを3歳児～5歳児まで行い、賛成71%、どちらでもよいを加えると、90%以上の賛成を得ている。そのアンケート結果を返した後、保護者会を開き、質疑応答を行った。配膳をするのであれば、保護者ボランティアにクラスに1名来ていただき、その1食分を町で負担して一緒に食事をするなどを入れて考えていると言ったら、参加したいと喜ばれていた。先生方やPTA会長さんなどと話し合い、やり方の工夫をしていきたい。幼稚園に給食を入れる関係で、2時までの半日支援員を増やすことにしている。10月からの国の無償化にあわせて、就労家庭の預かり保育料を無償化することも今後考えられる。小学校は特別支援教室が1つ増えるので、支援員も1人増やし、8人とする。給食調理員も半日勤務を1人増やす。中学校は牛乳保冷庫を新しくする。

黒木課長：生涯学習課では、卓球台を2台購入し、公民館やゆるびの舎に置く。西コミュニティセンターのフェンスの修繕、エアコンの更新をする。ボルダリング、スラックライン、花ごぎピンポン等を整備し、来年度から総合型スポーツクラブを立ち上げていく。ゆるびの舎のトイレの様式化、音響機材の購入、トレーニングルームのバイクの購入などを考えている。

(3) 第2回学校自己評価について

教育長：第1回は7月に、第2学校評価は12月に行い、冬休み中に集計したものである。

貝畑課長：小学1年生は「学校が楽しい」の「そう思う」の回答がかなり増えており、安心している。小学4年生は全体的に低く、その要因を分析する必要がある。7月のアンケート結果と大きく変わっているところは少ない。

綾野委員：昨年と比べることはできるか

教育長：昨年のデータはあるので、次回に出したい。

綾野委員：小学1年生から5年生が同じ傾向、6年生から中学3年生までが同じ傾向であるのは、データが正しいのか知りたい。

教育長：次回、経年比較を出して検討したい。

栗坂委員：4・5年生の保護者がどう思われているかが気になる。

教育長：保護者にもよく協力していただき感謝しているが、保護者の思いを傾聴してスピード感をもって改善を図っていききたいものだ。

(4) その他

・深砂公園テニスコート使用料の見直しについて

黒木課長：深砂公園テニスコートの使用料の見直しをする。テニスコートは1月5日から2月28日の期間に工事をして新しくする。費用は2,236万円。耐久年数は15年ということで使用料の値上げを社会教育委員と検討しながら進める。現在はコート使用料、照明使用料が250円だが、すべて400円案でいきたいと思うがどうか。参考に近隣を比べると、倉敷市のマスカットスタジアムは730円や750円の利用料、岡山の総合グラウンドも750円、610円で、近隣では早島町は安い。

綾野委員：テニスをする人は一回何時間するのか。

教育長：ほぼ2時間が多いと聞いている。

綾野委員：400円は妥当であり、500円でもよいのではと思う。ワンコインで、2時間1000円もよいのではないか。

大森委員：利用率はどのくらいか。

教育長：常に一杯となっている。

大森委員：倉敷の方では730円という利用料であるが、なぜこんなに違うのか。

教育長：新しくできたからではないかと思う。今500円の意見も出たのでそれも含め、検討したい。

3 連絡

・2月教育委員会 2月27日(水) 15時～17時 開催予定